

## 群馬県JA利根沼田管内レタスネバリン施用試験調査報告書

日本肥糧株式会社

場所:群馬県利根郡昭和村糸井 I様圃場

調査日:2018年7月2日

## (1)施肥設計

慣行区(面積13a);基肥 NN400(14-10-10)N7kg/10a、

試験区(面積13a);基肥 NN野菜美人(12-8-8)N7kg+ネバリン100kg/10a

畑全面に畑のカルシウム200kg施用

## (2)耕種概要

レタス品種:ツインセット(サカタ)

定植日:5月中旬

## (3)生育調査

試験区、慣行区ともに調整重400g以上を目安に生育の揃ったレタスを10株ずつ採取した。外葉を除き、調整重を測定した。根部は根を切らないように掘り取り、流水で土を落として重量を測定した。さらに平均的な生育の根部6株についてルートスキャナーで総根長を測定し、根の乾物重を比較した。

## (4)調査結果

各調査項目の平均値および統計処理結果を第1表に示した。

第1表 レタス収穫調査結果

項目	調整重 (g)	根部生鮮重量 (g)	総根長 (m)	根部乾物重 (mg)
試験区①	440	67	60.5	748
慣行区②	420	35	52.7	670
①/②指数	105	191	115	112
t検定結果	ND	*	ND	ND

注)統計処理 t検定の結果で、5%レベルで有意なもの\*、有意差なしのものをNDとした。

## (5)結果および考察

- 1)試験区側の収穫が進んでおり、調整重は試験区がやや重い傾向がありました。
- 2)調整後の試験区と慣行区を比較した写真1のように、試験区では外葉がしっかりとした感じで、撮影後も萎れることがなかったが、慣行区では外葉が萎れる傾向がありました。鮮度維持の面からもネバリン施用により、「店持ちが良くなる」ことが期待されます。
- 3)根部の比較では、先ず試験区は軸の太さが慣行区よりも太い傾向があり、根部生鮮重では、明らかに試験区の根が重いことが確認できました。
- 4)根だけを切り取ってルートスキャナーで測定した総根長は、試験区で長い傾向がありました。写真2で根洗い後の状態を比較すると、試験区の細根量が多いように感じました。根部の乾物重についても試験区で多い傾向があり、5%レベルで有意に近い状況でした。
- 5)この試験では、基肥も違っていますが、ネバリンの施用により根部の生育が良くなり、土壤養分の吸収も十分できたため、組織のしっかりしたレタスが出来たものと思います。食感としてはシャキシャキした新鮮なレタスであり、甘みも感じられました。

(6) 添付写真



写真1. 調整後の比較(左:試験区、右:慣行区) 7/2撮影



写真2. 各区平均的な根部6株の比較(左:試験区、右:慣行区) 7/2撮影

以上